

2008年9月期 業績予想修正に関する 補足説明資料

平成20年7月18日

アクセルマーク株式会社

東証マザーズ(3624)

1. はじめに

このたびは、2008年2月15日に発表させて頂いた業績予想を大幅に修正する事態となり、株主の皆様をはじめとした関係者の方々のご期待に沿うことが出来なかったことを、深くお詫び申し上げます。

本資料にて、本日発表させて頂きました2008年9月期通期の業績修正見通しと今後の戦略について説明させていただきます。

2008年9月期業績予想について

2. 業績予想

□ 業績修正内容

単位(百万円)

| | 当初計画 | 今回予想 | 差異 | 前年実績 | 対前年比 |
|------|-------|-------|------|-------|------|
| 売上高 | 3,617 | 3,500 | ▲117 | 2,024 | 172% |
| 営業利益 | 350 | 100 | ▲250 | 187 | 53% |
| 経常利益 | 324 | 74 | ▲250 | 182 | 40% |
| 当期利益 | 186 | 37 | ▲149 | 104 | 35% |

□ ポイント

<売上高>

- (1) コンテンツ・メディア事業の売上高が当初計画を下回ることとなりました
- (2) 広告事業の売上高は当初計画を上回ることができましたが、コンテンツ・メディア事業の落ち込み分をカバーするところまでは至りませんでした。

<営業利益/経常利益/当期利益>

- (1) 利益率の高いコンテンツ・メディア事業の売上が伸び悩んだことにより、全体の利益率が低下し、結果として当初計画の利益を達成することが困難になりました

3. 差異分析

□ 項目別差異分析

単位(百万円)

| | 当初計画 | 今回予想 | 差異 | |
|--------------|-------|-------|------|--------------------------------------|
| 売上高 | 3,617 | 3,500 | ▲117 | 課金数が想定どおり獲得できなかったため、売上高は大幅に未達成となりました |
| コンテンツ・メディア事業 | 2,431 | 1,790 | ▲641 | |
| 広告事業 | 1,079 | 1,600 | 521 | 広告主の高い出稿意欲を背景に、売上高を大幅に伸ばすことができました |
| その他事業 | 106 | 110 | 4 | |
| 売上総利益 | 1,276 | 920 | ▲356 | 主な要因は、コンテンツ・メディア事業の売上減による影響によります |
| 販売管理費 | 926 | 820 | ▲106 | |
| 営業利益 | 350 | 100 | ▲250 | 売上総利益額の減少にともなって、各利益項目が減少しました |
| 経常利益 | 324 | 74 | ▲250 | |
| 当期利益 | 186 | 37 | ▲149 | |

4. プロモーション施策の概況

□ 会員獲得プロモーション

- (1) ライフタイムコミッションについては、継続率の高い会員が獲得できましたが、想定通りの会員数を獲得することができませんでした
- (2) ランディングページの施策については、弊社がプロモーションする特定のコンテンツに興味を持って頂ける会員の獲得数が増えているものの、想定獲得数には届きませんでした

□ 各施策の進捗状況

| | 会員継続率 | 獲得数 | トピックス |
|--------------|---------------|----------------|-------------------------------------|
| ライフタイムコミッション | ◎ 想定以上の継続率 | × 想定通り獲得できず | 稼動メディア41 (6月末現在) |
| ランディングページ | ○ 想定通りの継続率 | △ 想定通り獲得できず | 6つの特定コンテンツを プロモーション実施 (6月末現在) |

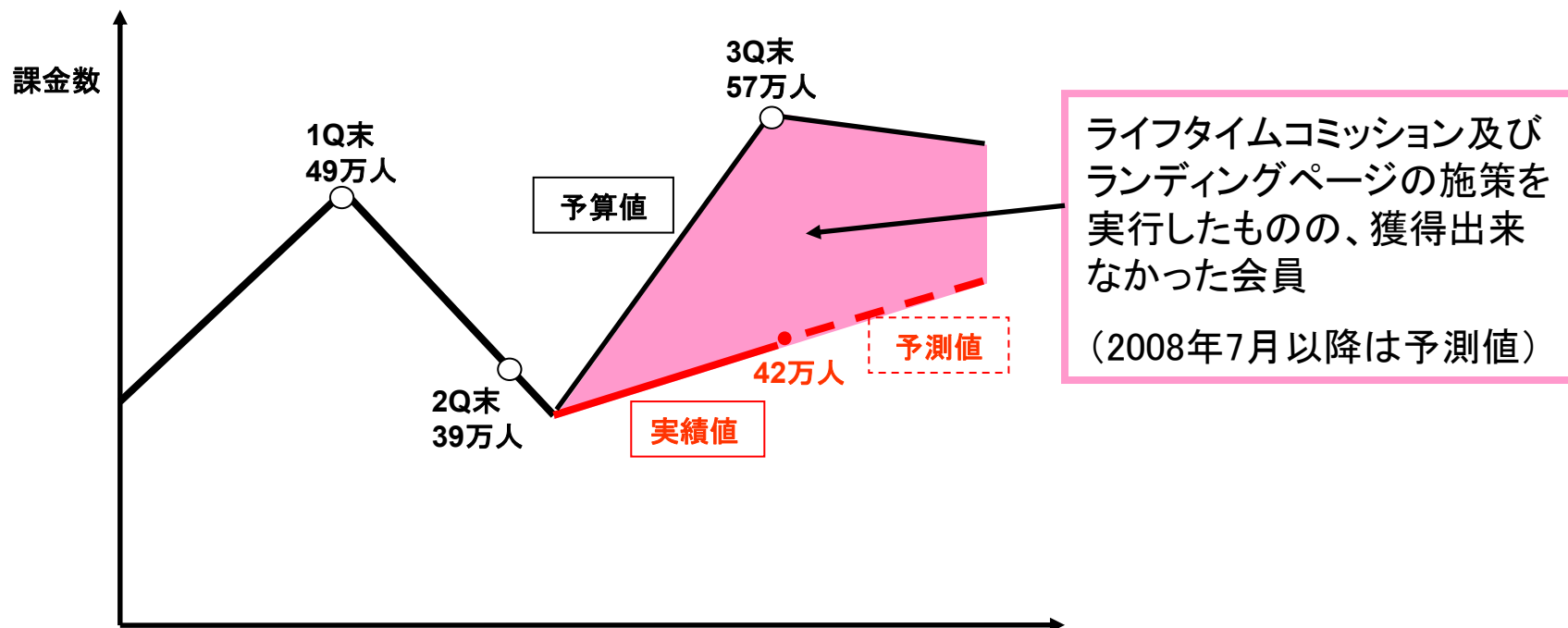
□ 6月実績

| | 会員継続率 | 月間獲得数 |
|--------------|------------------|---------|
| ライフタイムコミッション | 85% (6月→7月継続) | 1,000人 |
| ランディングページ | 38% (6月→7月継続) | 20,000人 |

次ページ以降で、課金数の予算・実績差異を説明させていただきます。

5. 予算実績差異(課金数全体)

□ 課金数推移(予算値と実績値の差異グラフ)



| 課金数推移 (四半期) | 2007年12月 (1Q末) | 2008年3月 (2Q末) | 2008年6月 (3Q末) |
|----------------|-------------------|------------------|------------------|
| 実績 | 49万人 | 39万人 | 42万人 |

2008年6月末の課金数予算57万人に対して、課金数の実績は42万人となり、差異▲15万人

6. 予算実績差異(施策別一覧)

| | | 4月 | 5月 | 6月 |
|------------------|-------------------------|--------------|-----------------------------------|----------------------|
| トピックス | | ・LTC/LP検証・準備 | ・LTC/LP本格稼働 ・人気アーティストの案件が8月以降に | |
| 課金数 | 実績 | 37万人 | 38万人 | 42万人 |
| | 目標 | 37万人 | 52万人 | 57万人 |
| | 差異 | - | ▲14万人 | ▲15万人 |
| 差異内訳 (実績・計画比) | ランディングP (人気アーティスト含む) | - | ▲9万人 実績1万人／計画10万人 | ▲9万人 実績2万人／計画11万人 |
| | 特定コンテンツ (人気アーティスト含む) | - | ▲3万人 実績0／計画3万人 | ▲5万人 実績0／計画5万人 |
| | ライフタイム キャリアメニュー、他 | - | ▲2万人 実績4万人／計画6万人 | ▲1万人 実績5万人／計画6万人 |
| ARPU | | 500円 | 500円 | 500円 |
| 売上影響額 | | - | ▲ 7,000万円 | ▲ 7,500万円 |
| 粗利影響額 | | - | ▲ 4,800万円 | ▲ 5,450万円 |

以上の結果、当初想定していた売上、売上総利益を確保することが困難となりました。

7. 役員報酬の減額と配当金について

■ 2008年9月期通期業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするために、以下のとおり役員報酬の減額を実施します。

- ・代表取締役 月額報酬の50%を減額(6ヶ月間)
- ・常勤取締役 月額報酬の15%を減額(6ヶ月間)

■ 2008年9月期業績は、当初計画を大きく下回る見込みとなりましたが、当社は株主の皆様へ安定的な利益配当を行うことを基本方針としております。よって、当初計画通り、1株当たり年間配当金を1,000円に据え置くこととさせていただきます。

今後のビジョンと戦略

8. 今後の戦略について

□ 基本戦略

(1) 成長するマーケットに注力

- ・動画を中心とした3Gコンテンツ

(2) 専門化されたサイト展開

- ・多様化するユーザーニーズにマッチしたサイト展開
- ・特定の差別化されたコンテンツの権利獲得

(3) ROIを重視したプロモーション

- ・ライフタイムコミッションにより継続率の高い優良ユーザーを獲得
- ・ランディングページの工夫により、特定コンテンツを嗜好するユーザーを獲得

市場拡大が期待できる分野へ特化することにより、
高い成長を実現する

□ 成長実現のための施策

1. 集客方法の確立
2. 有力コンテンツの権利獲得
3. 新規サイト投入

□ 2008年→2011年 市場成長性

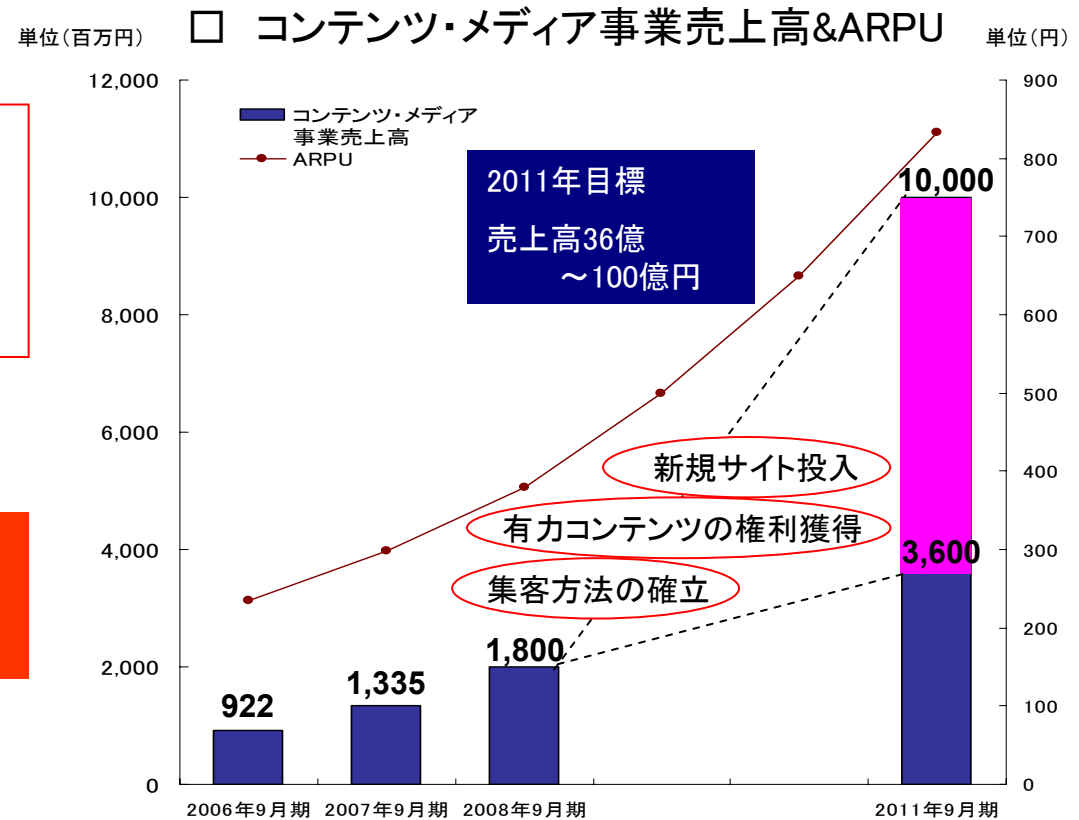
着うたフル 2倍※

電子書籍 2倍※

+

動画

※出所:「ケータイ白書2007」



10. 中期成長イメージ(広告事業)

市場拡大に応じた売上成長と、自社メディア開発による利益率向上を目指す

□ 成長実現のための施策

1. 有カメディア取り扱い拡大
2. 自社メディア開発

□ 2008年→2011年 成長性

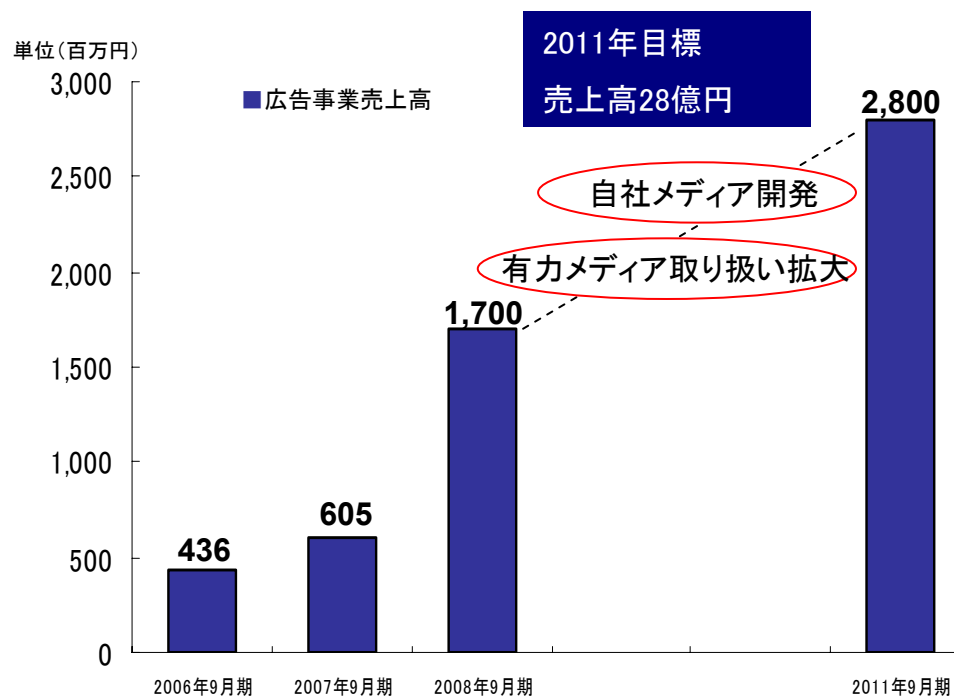
モバイル広告
1.7倍※

+

自社
メディア

※出所:「ケータイ白書2007」

□ 広告事業売上高



■本件に関するお問合せ先

アクセルマーク株式会社 IR担当

【TEL】03-5324-2445 / 【email】ir@axelmark.co.jp